

慶應義塾大学

大学院

修士課程入試問題

商学研究科

英語

2016年度  
(平成28年度)

慶應義塾大学大学院  
2016年度 商学研究科修士課程入試問題

英 語

以下の設問すべてに答えなさい。解答はすべて日本語で書くこと。ただし、所定の行数を越える答案は採点しない。

設問 1 以下の英文を読んで次の問いに答えなさい。

問 1 下線部①の理由を 3 行以内で説明しなさい。

問 2 本文にある, "The haken law" のよい点 2 つを, それぞれ 1 行以内で説明しなさい。

問 3 本文に即して考えると, なぜ日本の労働に関する法規制は, 将来の貧困層を生み出す可能性があるのかを 4 行以内で説明しなさい。

(出典) “Bring Japan’s talents to bear” by Matthias Helble, The Japan Times, May 18, 2015 より一部を  
抜粋

[http://www.japantimes.co.jp/opinion/2015/05/19/commentary/japan-commentary/bring-japans-talents-to-bear/#.VV19\\_ntlBc](http://www.japantimes.co.jp/opinion/2015/05/19/commentary/japan-commentary/bring-japans-talents-to-bear/#.VV19_ntlBc)

設問 2 以下の記事を読んで、問 1 と問 2 に答えなさい。

問 1 この記事では、大学教育に技術（特に情報工学）を使うことの利点を、実例を用いて説明している。

- (1) Phil Regier 氏が考えるアメリカでのオンライン学位のマーケットを、1 行で説明しなさい。
- (2) Carnegie Mellon University が開発した「統計学入門」の講義の特徴を、3 行以内で説明しなさい。
- (3) William G. Bowen 氏は何を調査し、どのような結果を得たか、2 行以内で説明しなさい。

問 2 この記事では、“edtech”が既存の大学にあまり影響を与えていない理由を 2 つ挙げている。

- (1) 下線部①について、ASU での事例を 2 行以内で説明しなさい。
- (2) 下線部②について、San Jose State University での事例を 2 行以内で説明しなさい。